資料３－３

豊川市地球温暖化対策実行計画区域施策編（案）委員意見一覧

ページ	関係する事項	内容	対応
全般		カタカナ語が多い。カタカナ語の後に和訳をつけるなど工夫があった方が良い。	カタカナ語は巻末の用語解説で対応。
全般		巻末の用語集に該当する難しい単語には※を入れる。※が用語集で解説されていることを何処かで書く。	用語解説に掲載されている用語には※を付け、1ページの下に用語解説が巻末にあることを加筆した。
全般		出来上がった計画書はどうやって配布するのか。	公共施設に設置し、広報やホームページに掲載する。また、地球温暖化防止をテーマにした出前講座などでも配布する。
2	図１．２大気中の二酸化炭素濃度の経年変化	大気中の二酸化炭素濃度について一宮地区の県の設備で測っている。地元のデータを使ったらどうか。	県より一宮のデータを入手し、グラフを新規で作成した。
15	図３．１及び図３．２	アメダスは豊川市にはあるのか。	豊川市にはない。豊橋市を採用している。
22	図３．１４鉄道利用者数の推移	名鉄の駅が２駅のみ。諏訪町なども入れたらどうか。	鉄道利用者の推移について、名鉄データを反映。駅数が多くなるため、日乗降者数1000人未満の駅は「市内その他」としてまとめた。
22	図３．１４鉄道利用者数の推移	名鉄は有人駅の豊川稲荷駅と国府駅で、JR東海は無人駅も含めてすべて載っている。名鉄は無人駅等８駅抜けているので、JR東海の駅も無人駅を一本化し管内無人駅（○駅合計）の利用者数にした方が良いと思う。	同上
42	図４．１０廃棄物における二酸化炭素排出量増減要因	図の左側の単位が大きすぎてグラフの帯が小さく見づらい。	グラフの二酸化炭素排出量の表示が１００ずつだったものを、２０ずつに修正した。
42	豆知識　日本の二酸化炭素排出量の推移	排出量単位の始点が１，０５０から始まるので０から作るか、空きの帯を入れる。	排出量の始点を０からに修正し、グラフを作成した。
52～	【市民の取組】について	市民の取組について「取り組みます」と「協力します」などニュアンスが違う語尾になっている。どのように使い分けているか。	「取り組みます」の方がより積極的。取り組む内容が難しい場合は「協力」にとどめている。
53～	【市の施策】 「情報提供・啓発」について	「普及」「啓発」等の文言を使っているが、どのように使い分けているか。何をするかに関わるので、意識して使うべき。	市の施策の中の「情報提供・啓発」の部分について、情報提供します、普及啓発に努めます、など言い回しが混在していた。「普及啓発」＝「広く知ってもらう」という意味で使用することとし、できるだけ「普及啓発を行います」に統一した。
57		環境マネジメントシステムの【市の施策】、【事業者の取り組み】の表の次に注釈を加えることが望ましい。 （注）IS014001及びエコアクション２１の内容については、巻末の用語解説を参照してください。	ＩＳＯ１４００１及びエコアクション21については、※を付け、巻末に用語解説があることを示した。
58	【目標指標】住宅用太陽光発電システム設置基数	「住宅用」を削除すべき。	住宅用を削除した。

豊川市地球温暖化対策実行計画区域施策編（案）委員意見一覧

資料３－３

ページ	関係する事項	内容	対応
58	３）再生可能エネルギーの利用促進	目標値　5,100基（35,500ｋｗ）（H32年度末）（年が抜けている） 欄外に下記を付記するとどれだけ、寄与しているかが見る人が分かり易い。 「平成32年度末に目標通り設置された場合、年間発電量は約3550万kwhが期待でき、一般家庭約1万世帯分に相当し、二酸化炭素については18,200t-CO2（H25年の中部電力の0.513kg-t/kwhを使用）が削減でき、目標年次の想定排出量の1.27％に当たります。」	年を追記した。 58ページにコラム的な記述を追記した。 電気の排出係数は、基準年固定の0.000452で計算した。 また、世帯あたりの電気使用量4,618kWh/年というデータがあり（資源エネルギー庁の「家庭におけるエネルギー消費実態について」調査結果より）、それで除算して約8千世帯分とした。
63、64		ＮＰＯの人との関わりなど、市民を浮かび上がらせる仕掛けがあった方がよい。新城市など美化活動など汲み上げながら地域整備をやっている。市民パワーをいかに使っていくかという仕組みづくりが必要。サポートが動機付けに繋がる。	豊川市では、平成２５年度末で１０２のアダプトプログラム登録団体がある。アダプトプログラムは様々な活動を行っており、主に道路や河川の清掃・美化を実施している。６４ページにアダプトプログラムに関する解説を新たに掲載し、豊川市の施策の紹介をする。
63、64		アダプトプログラムの地図を入れるなどイメージできるものが大事。具体的にどうなのか書く。	同上
63、64		アダプトプログラムに登録するとどのような支援があるのか具体的に知らせないといけない。それが市の独自のデータとして充実してくる。	同上
65	平成２５年度　緑のカーテンコンテスト　豊川市長賞	情報量が少ない。受賞理由などを入れてはどうか。	65ページに緑のカーテンコンテストについての説明を加えた。
72	２）市民・事業者の意見の反映	推進体制は環境基本計画と同じだが、「２）市民・事業者の意見の反映」と文章が違う。	環境基本計画にならい、修正した。 【環境基本計画】 　市は、年次報告として、毎年、環境の状況と環境保全に関して講じた施策について報告書を作成し、これを公表し、広く市民・事業者の意見の反映に努めます。 　環境審議会は、学識経験者、各種団体の代表者、関係行政機関の職員の委員で構成されており、環境基本計画に関する事項、環境の保全や創造に関する基本・重要事項を調査審議する機関であり、年次報告を受け、本計画の推進について調査・審議および提言を行います。 【本計画】 　市は、年次報告として、毎年、温室効果ガス排出量の状況と排出削減のために講じた施策について報告書を作成し、これを公表し、広く市民・事業者の意見の反映に努めます。 　また、環境審議会は、学識経験者、各種団体の代表者、関係行政機関の職員で構成されており、本計画の進捗について年次報告を受け、調査・審議し、提言を行います。